

令和7年度4月入学

大学院人間文化総合科学研究科（博士前期課程）入学試験問題

【外国人留学生特別選抜】

言語文化学専攻

日本アジア言語文化学コース

〔専門科目〕

試験日：令和7年2月1日（土）

注 意

1. この冊子には、次のとおり、3分野、合計6題の問題が綴じられている。
(総ページ数 — 7ページ)

A群 (AⅠ～AⅣ)

B

C

試験開始に際しては、まず、上記のとおり全問題があることを確認し、脱落がある場合は、挙手により監督官に申し出ること。

2. 各受験者は、A群のうちからいずれか1題を選び、BおよびCの問題と合わせて解答すること。
3. 解答に際しては、A・B・Cそれぞれ指定された解答用紙を用いること。
(裏面も使用してよい。) なお、使用する解答用紙のすべてに受験番号及び氏名を記入すること。
4. 試験終了後、この冊子は持ち帰ること。

A I つぎに挙げるのは、『萬葉集』の歌で、どの歌にも「蔵」という字が用いられている。これらについて後の問に答えよ。

潮干なば 玉藻薊蔵 家の妹が 浜づと乞はば 何を示さむ (巻三・三六〇)
我妹子が 赤裳ひづちて 植ゑし田を 刈將蔵 倉無の浜 (巻九・一七一〇)
近江の海 沖漕ぐ舟の いかり下ろし 蔵公之 言待つ我ぞ (巻十一・二四四〇)
家にある 櫃にかぎ刺し 蔵而師 恋の奴の つかみかかりて (巻十六・三八一六)
あらし田の 鹿猪田の稲を 倉尔舉蔵而 あなひねひねし 我が恋ふらくは (巻十六・三八四八)

問一 一七一〇番歌と、三八一六番の傍線部は、現行訓でそれぞれ「カリテヲサメム」「ヲサメテシ」と訓じられている。このように訓がつけられる理由について、文字に即して自分の考えを述べよ。

問二 一七一〇番歌について、一首を現代語訳せよ。

問三 三六〇番歌の傍線部について、

(a) 「タマモカリヲサメ」という訓では問題がある理由を簡潔に述べよ。

(b) 当該歌傍線部は、現行の注釈書では「タマモカリツメ」と訓じられているが、古く『萬葉集略解』において、本居宣長の説と断つたうえで「蔵をツメと訓むは、倉に物を積み置き意なり」とある。このことを訓詁学の立場で実証するにはどのように調査、考察していけばよいか、説明せよ。

問四 二四四〇番歌の傍線部について、次の問いに答えよ。

(a) 左図は当該歌の校本萬葉集の記述である。「蔵公之」の訓の異同に関する情報を全て記せ。なお、諸本名は略称ではなく、正しく記すこと。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

(b) 『萬葉代匠記』に「あふみの海の底におろせるいかりのことく、ふかくかくれて、君がたのむることのはをまつ我にてあるなり、かくれてはしのひての心なり」とある。これを解釈して説明せよ。

問五 三八四八番歌の傍線部について、

(a) 現行、大きく分けて「クラニアゲテ」訓と「クラニツミテ」訓があるが、表記との対応がそれぞれどのように変わるか、説明せよ。

(b) いずれのほうか、より穏当な訓だと考えるか、理由とともに自分の考えを述べよ。

A II つぎの文章は、鴨長明『発心集』第一の第八話である。これを読んで、後の問に答えよ。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

(注) ○円宗寺——京都市右京区にかつてあった後三条天皇の勅願寺。

○八講——法華八講。

○伝——『拾遺往生伝』。

- 問一 文中の影印部分について翻字せよ。漢字仮名の別や、振仮名、濁点等はもとのままとすること。
- 問二 傍線部 a・b・c・d の読みをひらがなで示せ。
- 問三 傍線部①について、「是」の指示内容を明らかにしながら現代語訳せよ。
- 問四 傍線部②について、「其の心ざし」の内容を具体的に示しつつ現代語訳せよ。
- 問五 傍線部③について、わかりやすく解釈せよ。
- 問六 傍線部④について、誰が何について「罪深く覚え」たのかを説明せよ。
- 問七 『発心集』およびその著者鴨長明について知るところを詳しく述べよ。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

(7)

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

(6)

A III つぎは泉鏡花「外科学」より「上」の途中から「下」末尾までを引用したもので、外科医の「高峰」が麻酔を拒否した「伯爵夫人」の外科手術をおこなう場面から始まっている。これを読み、後の問に答えよ。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

問五

問一 傍線部①「其時の二人が状、恰も二人の身邊には、天なく、地なく、社會なく、全く人なきが如くなりし」とはどのような状態を述べたものか、説明せよ。

問二 傍線部②「三人の婦人」の構成について、このあとの「商人體の壯者」の会話をふまえて簡潔に説明せよ。

問三 傍線部③「躑躅は美なりしなり。されど唯赤かりしのみ」とはどのようなことか、説明せよ。

問四 傍線部④「見しやそれとも分かぬ間だつたよ」とはどういうことか、この表現のもとになっていると考えられる和歌を明らかにしつつ、説明せよ。

問五 傍線部⑤「予は多くを謂はざるべし」とあるが、そのように語ることによってどのようなことを示していると考えられるか、全体をふまえて説明せよ。

問六 泉鏡花「外科室」は、現行の近代文学史においてはどのような小説として分類されているか、ジャンル名とその特長を説明せよ。

問七 問題本文の「外科室」は、現代日本文学全集第十四篇『泉鏡花集』（改造社、一九二八年）所載のものである。この叢書「現代日本文学全集」について知るところを述べよ。

A IV つぎの ㊦・㊧の問に、すべて答えよ。

㊦ つぎの文を読み、後の問に答えよ。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

(『宣室志』による)

(注) ○唐燕士——人名。 ○雨霽——雨が上がる。 ○澗——谷川。 ○潺潺——水がさらさらと流れるさま。

問一 傍線部 1 を現代日本語に訳せ。

問二 傍線部 2 を書き下せ。

問三 二重傍線部 A 「白衣丈夫」について、この文中から分かることをすべて記せ。

問四 二重傍線部 B について、

(a) 「自去自來人不知，歸時唯對空山月」二句の平仄を示せ。平は○、仄は●を用いること。

(b) この詩の押韻字をすべて記せ。

(c) この詩を解釈せよ。

㊦ つぎの文を読み、後の問に答えよ。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

ヤホントフ《汉语的動詞範疇》(陳孔倫訳、1958年)より

- 問 1 下線部 a について、“間接宾语”との共通点と相違点を、日本語で述べよ。
問 2 下線部 b について、どういうことか、文中の例を使って日本語で具体的に説明せよ。
問 3 下線部 c を日本語に訳せ。
問 4 下線部 d について、どういうことか、中国語で例を挙げて、日本語で説明せよ。

B つぎの事項のうち、いずれか任意の三つを選んで説明せよ。なお、それぞれの解答のはじめに、何番の事項についての解答であるかをかならず明記すること。

- ① 『播磨国風土記』
- ② 『夜の寝覚』
- ③ 『風姿花伝』
- ④ 蔦屋重三郎
- ⑤ 仮名垣魯文
- ⑥ 『白樺』（雑誌）
- ⑦ 宮沢賢治『銀河鉄道の夜』
- ⑧ 芥川賞
- ⑨ 漢音と呉音
- ⑩ 定家仮名遣い
- ⑪ テンスとアスペクト
- ⑫ 『和英語林集成』
- ⑬ 司馬相如
- ⑭ 玄言詩
- ⑮ 江西詩派
- ⑯ 馮夢竜
- ⑰ 『四庫全書』
- ⑱ 郭沫若

C あなたの研究しようとしているテーマは何か、またそれに対してどのようなアプローチを試みるつもりかを、具体的に論述せよ。